

ボルグワーナー、FDB (FinDreams Battery) 社とLFPバッテリーパックに関する国際戦略的提携関係を結ぶ契約を締結

- *ボルグワーナーがヨーロッパ、アメリカ、およびアジア太平洋の一部で商用車市場(クラス3以上)向けのLFPバッテリーパックの主要メーカーに*

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(NYSE: BWA/ 本社: アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者: フレデリック・リサルド/Frederic B. Lissalde) は、2024年2月8日、BYD 株式会社の子会社である FDB (FinDreams Battery、弗迪電池) と戦略的提携関係を結ぶ契約を締結しました。本契約に基づき、ボルグワーナーは FDB 傘下ではない、唯一の非 OEM 現地メーカーとして、FDB のブレードセルを使用した商用車向け LFP バッテリーパックを欧州、米州、アジア太平洋の一部地域で現地生産する権利を取得しました。契約期間は8年間です。

FDB からは、対象地域で LFP バッテリーパックの製造に使用する最先端のブレードセルの供給を受けると同時に、バッテリーパックの設計と製造工程に関する FDB が保有する知的財産の使用を可能にするライセンスを取得します。

ボルグワーナー社長兼最高経営責任者のフレデリック・リサルド (Frédéric B. Lissalde) は、次のように述べています。

「FDB は、中国と欧州のモビリティ業界向け LFP バッテリーでは 20 年以上の経験と実績があり、この分野における最適なパートナーであると確信しています。この市場セグメントのさらなる電動化推進のため、最先端のセルとバッテリーパック技術を共同で開発できることを嬉しく思います」

FDB の社長兼 CEO である Micheal He は、次のように述べています。

「複雑な地政学を背景に、また海外商用車向けリン酸リチウムイオンによる電動化の黎明期という重要なタイミングで、ボルグワーナーとの FDB ブレードセルを使用したバッテリーパックの海外現地化協力は、お互いの強みを生かし、海外顧客に多様で柔軟な選択肢を提供すると同時に、FDB ブレードセルを使用した現地化バッテリーパックへのアクセスを容易にします。FDB は、『人々に電池を自由に使ってもらおう』というビジョンのもと、ボルグワーナーと協力し、海外の商用車市場の急速な電動化のために努力していきます」

ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130 年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界の e モビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本リリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれるかまたは言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の直近の Form 10-K 年次報告書（以下、「Form 10-K」）の第7項「重要な会計方針および試算 (Critical Accounting Policies and Estimates)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、性質上、将来予測に基づくものです。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と認識を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきものではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の代表的な例として次のものがあげられます。当社または当社顧客に影響を及ぼす供給停止（受託製造会社 (OEM) 顧客および当社を含むそのサプライヤーに影響を与えている現在の半導体チップ不足等）、商品の入手可能性や価格及びこれらのコストに関する顧客との交渉において期待されるレベルの回収率を達成できないこと、OEM顧客を含む既存および新規競合会社との競合、急速に変化するテクノロジー（主に電気自動車関連）およびそれに対する当社の革新能力に関連する課題、電気自動車の需要予測および電気自動車売上成長率の予測の困難、ウクライナおよび中東地域における戦争による世界経済の潜在的混乱、買収対象を特定し許容できる条件で買収を完了する能力、買収から期待される利益の適時な実現の不実施、最近完了した、旧フューエル・システムズ部門とアフターマーケット部門の非課税スピノフ取引が当社にとって意図した利益を達成できない可能性、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、自動車およびトラック製造（いずれも景気に大きく左右され、需要縮小の可能性がある）への当社の依存性、大手OEM顧客への当社の依存性（一部の OEM 顧客を巻き込んだ最近および将来のストライキの程度、期間、影響、および当該 OEM 顧客が取る対応策）、金利の変動および外貨の為替レートの変動、様々な情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、様々な申し立てに関する訴訟を含む、既存または将来の法的手続き、または関連する訴訟を含む政府の調査の行方、当社が事業を展開している国における税金や関税などの法規制の将来的な変更、将来の買収または売却の可能性がもたらす影響、直近の Form 10-K および/または Form 10-Q の第1A項「リスク要因 (Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスク、など。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、小野田

TEL:070-4303-7215(中井)、090-9031-5032(小野田)

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp